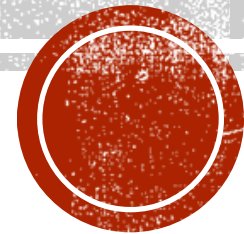


国立看護大学系の アドミッションポリシーの分析

○北谷幸寛1)，八塚美樹2)

1) 富山大学大学院医学薬学教育部 成人看護学専攻

2) 富山大学大学院医学薬学研究部 成人看護学1



研究背景

医療技術の発展により，高度な医療機器を使うための能力が，また患者の権利意識の高まりにより人間性をもった看護師が求められている。

こうした看護師を養成するために，大学ではより高度な教育水準が必要となり，その水準を達成するための必要な能力を持った質の高い学生が求められている。



- 質の高い学生を確保するため、各大学ではアドミッションポリシーを作成し自らの大学が望む学生像を示している。
- アドミッションポリシーには※の定義からもそれぞれの大学での個性，または目標が反映されており，多様なものとなっている。

※アドミッションポリシー（以下AP）：

大学の入学者受け入れ方針。自校の特色や教育理念などに基づき，どのような学生像を求めるかをまとめたもの。



APの例

金沢大学	➤ 看護の専門技術や知識を高めて，社会に貢献する意欲を持つ人
	➤ 病める人に対する医療のために，情熱を燃やすことのできる人
	➤ 人間の健康，医療問題に対して国際的視野で貢献したいと強く願う人
	➤ 保健の分野で，新しい技術や知識を創り出す熱意を持つ人
	➤ 看護学及び看護の進歩のために，将来のリーダーとなる夢を持つ人
富山大学	➤ 基礎学力があり看護学に深い関心を持つ人
	➤ 人間に強い関心をもち，人々の安寧のために働くことを希望する人
	➤ 他者との連携を保てる人

このように隣県ではあるが，大きな違いが見受けられる。



研究目的・意義

本研究の目的は、地方ごとのAPの差異を抽出することである。そのことにより、看護を目指す学生の大学選びの一助となるものと考えられる。また大学側にとっても自らのAPを見直す際の一助になるものと考えられる。



研究方法

研究期間

2014年8月～2014年10月

研究対象

- ・インターネット上に公開されている国立大学看護学科のAP

倫理的配慮

- ・本研究では人を対象としていないため、倫理申請は行ってはいない。しかし、データはインターネット上に公表されているものを使用し、大学名が分からないように配慮している。



分析方法

1, インターネット上に公開されているAPの中で, ○○である学生といった学生像に関する文章を抜き取り, excelファイル化を行った.

2, 言語表現の曖昧さを避けるため, 似通った表現を統一化した.

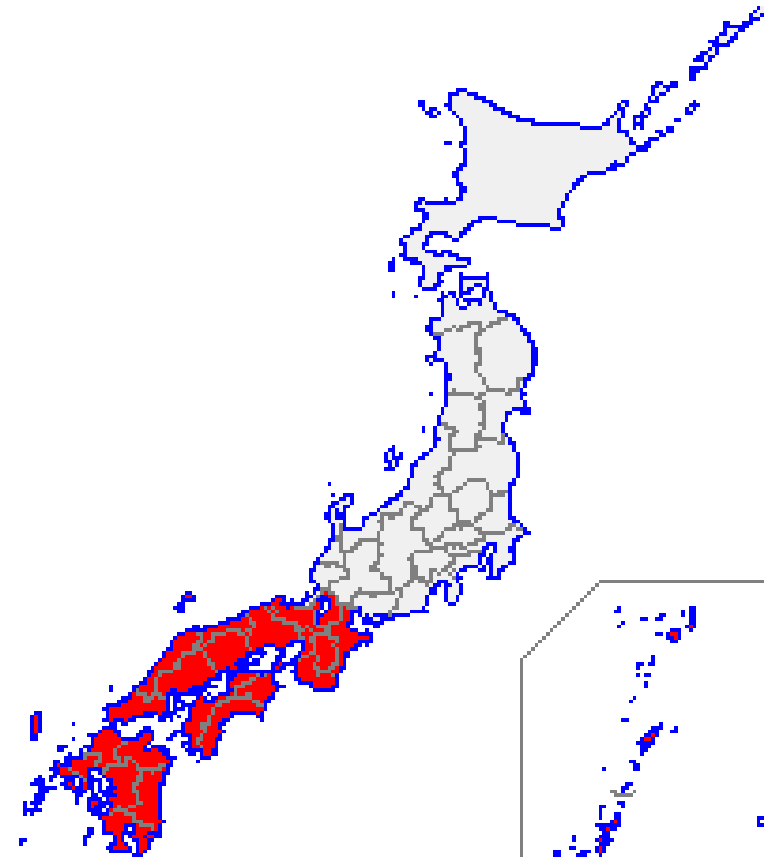
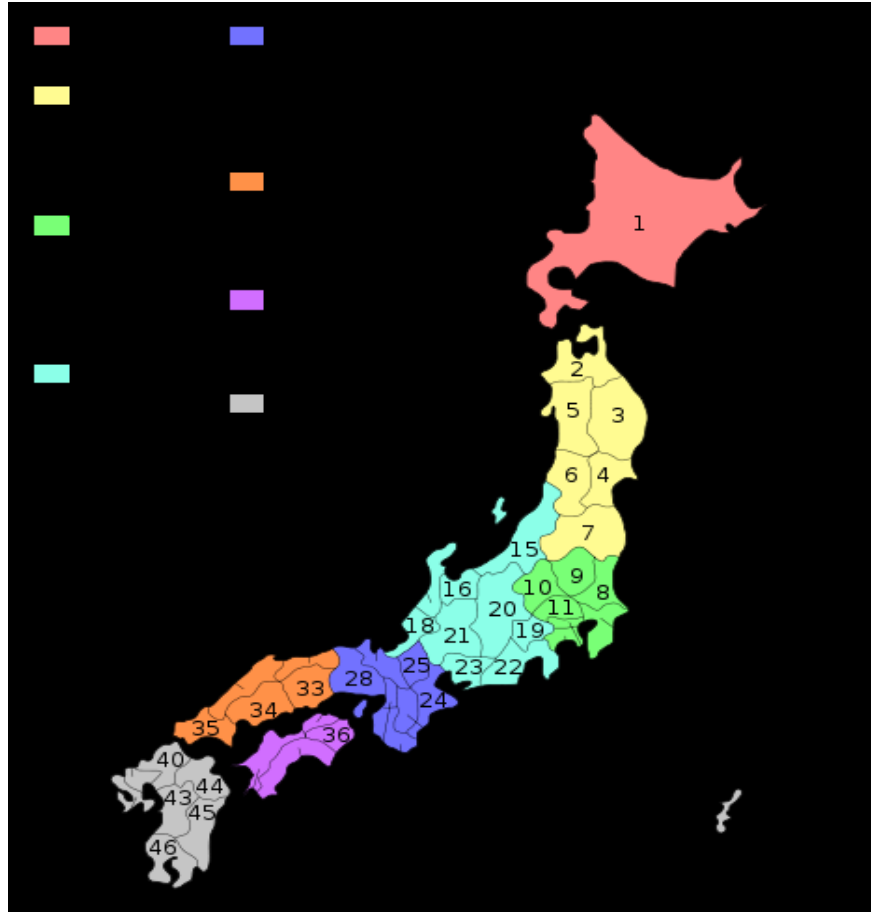
Ex :

「倫理観を持っている人」「倫理観がある人」→「倫理観がある人」
「学生」「人」「者」「ヒト」→「人」 等である

3, 統一化したものに対してText Mining Studio ver4.1 (以下TMS) を用いて地区ごとの単語頻度解析, バブル解析を行った.

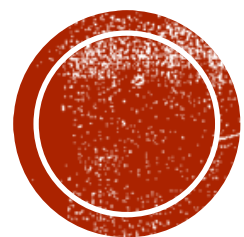


地区区分



地方は行政区分に従い分類した。なお分析の際には，中国地方と四国地方を合わせ，同様に，北海道と東北地方を合わせた6区分とした。
また西日本を赤とし，東日本をねずみ色の区分に分けた。





結果・考察



AP掲載大学

地方名	設置大学数	掲載校数	総文節数	平均文節数
九州地方	8校	8校	36	4.5
四国・中国地方	9校	9校	46	5.1
近畿地方	5校	4校	11	2.8
中部地方	7校	6校	22	3.7
関東地方	7校	4校	11	2.8
東北・北海道地方	6校	5校	15	3.0

掲載校・文節数は西日本が多く、東日本が少ないという結果になった。また設置大学数に比べ、ネット上に掲載している大学は西日本のほうが多く、より学生募集に力を入れているのではないかと考えられる。



各地方特有の単語頻度

上位20位の中で共通していない言葉を抜き出している

九州地方	中国・四国地方	近畿地方	中部地方	関東地方	東北・北海道						
意志	4	行う	3	国際的視野	2	知識	2	継続的	2	備える	3
あふれる	3	幅広い	3	解決する人	1	リーダー	1	有する	2	限る+ない	2
取り組む	3	保健	3	希望人	1	医療問題	1	コミュニケーション能力	2	人間	2
目指す	2	学力のある人	3	協調	1	科学的探究心	1	し合う	1	病める	2
育む	2	看護	2	協力	1	果たす	1	医療	1	目的意識	2
価値観	2	看護技術	2	興味人	1	角度	1	科学的知識	1	できる	1
		技術	2	個人	1	学力	1	解決能力	1	沿う	1
		健康	2	貢献	1	感性	1	解決力	1		
				貢献人	1			学習	1		
				思いやり	1			患者	1		
								看護実践	1		
								観察力	1		



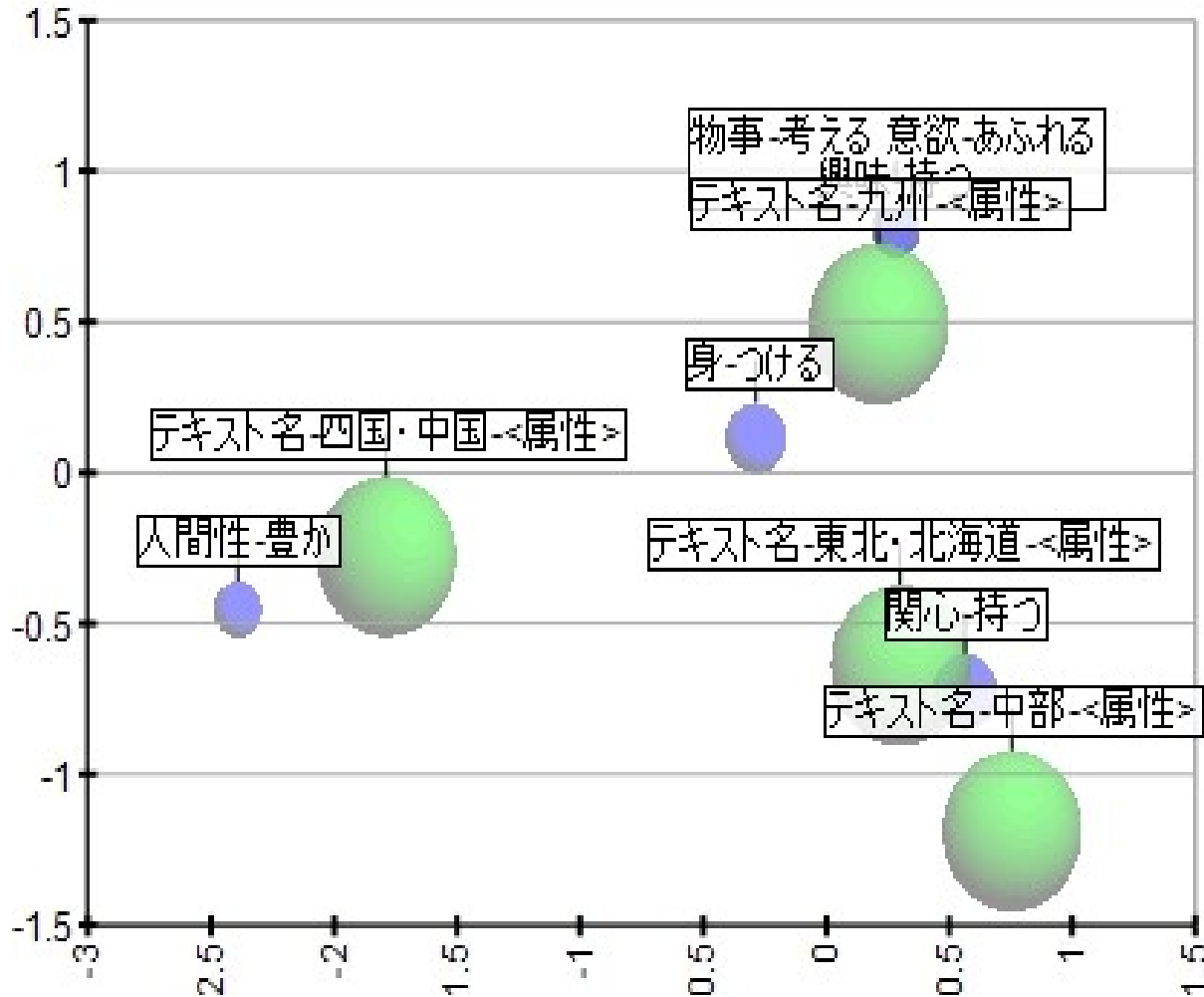
これらの単語から，学生像なので名詞を抜きそしてその名詞を含む原文に立ち返った

- 九州地方では意志がある学生の入学を希望している
- 中国・四国地方では幅広い学力が重要視されている
- 近畿地方では国際的な視野や周囲との協調性が重要視されている
- 中部地方では医療問題などに関する知識や科学的探究心が重要視されている
- 関東地方では他者とのコミュニケーション能力だけではなく，問題解決を行える能力や継続的な学習が行えること
- 東北・北海道地方では，やめる人に寄り添うことができ，目的意識を備えていること

今述べたような特徴が見いだせたが，しかし，単語頻度解析ではそれぞれの単語の分母が違い，正確な比較が行えていないもの考える。
そこで，バブル解析を行い，言葉同士の関係や頻度を見ることにした。



バブル解析（話題一般）

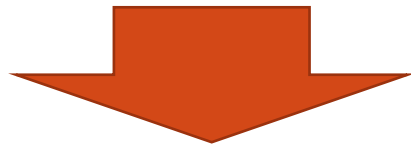


- 中国・四国地方は「人間性が豊かな」ことが求められている
- 九州地方では「物事を考える，意欲があふれる，興味を持っている」ことや「身をつける」ことが求められているようである。
- 北海道・東北地方と中部地方では「関心もつ」学生が求められているが，距離の関係からより東北・北海道地方で関心を持つことが求められているようである。



バブル解析小括

- 近畿，関東地方が出現していない理由としては，最も文節数が少なくバブル解析での出現に足るだけの情報数がなかったことが原因の一つと考えられる。
- 物事や意欲という単語からは想像が付きやすいが，興味，身，関心は不明瞭である。



そのため次にそれぞれの単語（興味，身，関心）とどのようなものが共起されているか，原文から抜き出すことにした。



「興味」 (九州地方)

興味

共起関係

生命科学や保健・医療・福祉

- ・ 看護に限定せず看護を含む医療全体に興味を持っている学生を希望している

専門分野の知識や技術

- ・ 入学後に学ぶ事柄であり，こうした事柄への興味を持つことを求めている



「身」 (九州地方)

身

共起関係

基本的学力・豊かな感性や表現力・思考力・協調性・語学力

- ・ 看護を学習するうえでの必要な能力。そして「協調性」といった他職種連携が必要な看護を展開するための能力が必要とされている。

看護技術や教養

- ・ これらを身につけるための基本的な能力が求められているのではないかと考えられる。



「関心」 (東北・北海道地方, 中部地方)

関心 ——— 共起関係 → 生命科学や保健・医療・福祉

- 看護をする際には必ず患者さんの人間のそのものを見なければ無いため、他人へ関心を向けられることが学生に望むことであるものと考えられる。



結論

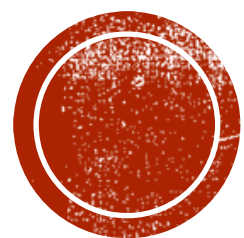
- 研究当初は各大学ごとに特色はあるものの、看護師を要請することを第一の目標としている大学では、ある一定の水準で似通った結果が出るものと考えていた。しかし、予想とは異なり、各地方ごとに求める学生像が異なっていることが分かった。このことは、ある一定水準の看護師を養成することを目指しているのではなく、その大学独自に理想の看護師像がありそれを目標にした看護師の養成を行っているものと考えられる。



今後の課題

- 今回、対象となる文節が少ないため、全国の地方をより詳細に比較することができなかった。そのため今後は公立・私立大学のアドミッションポリシーに拡大して、地域ごとの比較を行っていく必要性がある。
- また、その後求める新人看護師像が明らかにできれば、就職の際には新卒の学生が望ましい・希望する看護師像を抱く地域へと就職するための手助けとなる。そのことによって、新人のバーンアウトをさらに予防することができるのではないかと考えられるため、新人看護師の求められる像を明らかにすることは今後の課題とする。





終了